

大会実施に向けたガイドライン

【令和3年11月23日 第59回労働文化祭バドミントン大会 版】

深川市バドミントン協会
(10月20日版)

1. 感染予防の基本的対策について

- ・ 応援の来館はご遠慮ください。(原則、無観客試合)
送迎などの必要により入場する者は、必ず記名をし、健康状態のチェックと手指消毒、マスクの着用を徹底すること。館内を不用意に逍遥(しょうよう)しないこと。
- ・ 発熱者、体調不良者の入館を禁止とする。
- ・ 会場内においては、コートに入っている選手以外はマスクを着用する。
- ・ 常時、もしくは定期的に換気を行う。
- ・ 消毒液を複数箇所に配置する。

2. 競技運営上の具体的対策について

- ・ 試合をしている選手と主審・線審以外の選手・関係者はメインアリーナ2階席に待機すること。
マッチ毎の選手・審判の入れ替えに多少時間がかかるが、寛容に対応されたい。
- ・ 用具入れのカゴは配置しない。バッグ等をコートサイドに置くことを認める。
- ・ 主審のコールは「プレイ」「レット」「フォルト」「ゲーム」等、最小限とする。
- ・ 線審は「アウト」のコールはせず、指定の合図のみ行う。
- ・ 得点板は線審が担当する。
- ・ インターバルは競技規則通りとする。ストップウォッチを持たせないで速やかに再開すること。
- ・ 各試合終了後、線審はイス、得点板等を除菌シート等を用いて消毒する。
- ・ 除菌シートは使用後所定の場所に捨てる。

3. 大会参加に関する留意事項

- ・ 各団体で参加者一覧、健康状態確認シート(別紙1団体)を作成し、受付時に提出する。
- ・ 体調不良や感染リスクのある選手は自主的に参加を見送ること。また、受付時において上記シート未記入の選手は参加させません。
- ・ 試合・練習以外では、マスクを着用する。
- ・ 2階席では適度な距離を取って座り、前に出たの応援や席の移動を禁止する。
- ・ 応援は拍手のみとし、声を出しての応援を禁止する。
- ・ 試合前後のあいさつは十分な距離を取り、握手をしない。
- ・ シャトルの交換は主審に確認後、選手が筒から出して行う。
- ・ シューズの裏を手で拭かない。
- ・ 意識的に試合中の声出しはしない。
- ・ ハイタッチ等の接触を行わない。
- ・ ゴミは各自で持ち帰る。